

花咲きホールからのお知らせ

TEL 36-2323
FAX 36-2777

チケット好評発売中

花咲きライブ

『奏春2017 so-shun』～ロビーコンサート出演者による演奏～
～早い春を飾るメロディの数々をお楽しみください♪～

- ▶ **出演**
 - ・ヘルマンハーブ演奏グループ『風歌』^{フーガ}
 - ・長瀬裕子(フルート)、松山恵(ピアノ)
 - ・村中一夫(ヴァイオリン)、丸山真姫(ピアノ)
- ▶ **日時** 3月4日(土) 13時30分開場 14時開演
- ▶ **場所** 花咲きホール
- ▶ **入場料** 500円ー全自由席ー
- ▶ **主催** 市教育委員会

山縣市重要無形民俗文化財舞台公演会

- ▶ **日時** 2月19日(日) 12時30分開演
- ▶ **場所** 花咲きホール
- ▶ **入場料** 無料(※要入場整理券) ー全自由席ー
- ▶ **主催** 山縣市伝統文化地域活性化実行委員会、山縣市重要無形民俗文化財伝承活用事業実行委員会
- ▶ **問い合わせ先** 生涯学習課

山縣市役所ロビーコンサート ランチタイムコンサート

- ▶ **日時** 2月28日(火) 12時～12時45分
- ▶ **出演者** 有田有希(ヴァイオリン)・松井裕樹(ピアノ)
- ▶ **主催** 花咲きホール・花咲きホールボランティア

- ▶ **チケット取扱場所**
花咲きホール 会計課
高富・美山中央公民館
- ▶ **チケット取扱時間**
開館時間 9時～17時
(閉館・休館日を除く)

★花咲きホールボランティアスタッフ募集★

花咲きホール公演の受付・会場・接待・企画運営など、
イベントスタッフとしてご協力いただける人を募集しています。市内外在住を問いません。

図書館からの お知らせ

TEL 36-3339

図書館上映会

シアターセットで子ども向けDVD
無料上映会を行います。

▼ **日時** 2月26日(日) 14時～

▼ **アニメ** 「くまのがっこう」(37分)

▼ **場所** 図書館本館

岐阜県内の世界遺産・世界遺産候補を紹介するパネル展

岐阜県が世界に誇る遺産や遺産候補について紹介するパネルを展示します。

▼ **日時** 2月1日(水)～14日(火)

▼ **場所** 美術館ロビー

みやまジョイフル倶楽部イベント

地域で学ぶもちつきと昔の遊び体験

地域の人たちから学ぶ昔の道具説明や遊びの体験、読み聞かせ、もちつきなど、親子で楽しめるイベントです。つきたてのおもちや温かいみそ汁を食べながら、楽しい時間を過ごしてみませんか。

▼ **日時** 2月25日(土) 10時～13時

▼ **参加費** 無料(先着100人)

▼ **申込先** みやまジョイフル倶楽部

TEL 55-2608

特別展 古田紹欽が愛した墨色の世界 「室町水墨画展 ～伊自良と雪舟～」



水墨画の巨匠・雪舟をご存じの人も多いのではないのでしょうか。

実はこの雪舟が今から500年ほど前の室町時代に、伊自良の地に訪れ、「山寺図」という水墨画を描いたといわれていることをご存じでしたでしょうか。

古田紹欽記念館では、11月26日と27日の2日間、地域文化の発信として特別展 古田紹欽が愛した墨色の世界「室町水墨画展 ～伊自良と雪舟～」を行いました。



仏教哲学者 古田紹欽

■ 墨にみる色 —

古田紹欽氏は子どものころから古美術に触れたことで書や絵画などの芸術に関心を寄せていました。

紹欽氏は特に色彩というものに深く興味を持ち、その中でも、墨の色にみる色彩について「墨は墨であるが、ぼんやりとその墨色だけを見たのでは墨絵の墨を本当に理解することはできない。」と語っています。

墨の無限なる魅力は、その色にあるのかもしれませんが。

■ 水墨画授業

「墨の魅力を伝えたい」

碧山文庫の高橋範子氏が雪舟ゆかりの地、伊自良で水墨画授業を開催。

墨をすずりで擦り、墨の色や香りなどを五感で感じながら、子どもたちは、雪舟の画風を受け継ぐ室町時代の画家、雪村筆「墨梅図」をお手本に、墨の濃淡を楽しみながら筆をあやつり、水墨画を描きました。



伊自良北小学校(11月25日)



古田紹欽記念館(11月26日)

■ 講演

「伊自良と雪舟」

伊自良に水墨画の巨匠・雪舟が訪れたことや、雪舟の人物像、雪舟の描く水墨画についてなど室町水墨画の研究者や美術史家の視点から、高橋範子氏ならではの切り口で講演が行われました。



■ 今後の展開

「室町水墨画研究の楽しみは、室町人の一人一人に作品のなかで出会うことである」と語る高橋範子氏。

一幅の水墨画に託した画人の思いを現在に伝えます。

今回の特別展「室町水墨画展 ～伊自良と雪舟～」のキャプションはすべて高橋氏が手掛けました。

「ぼんやりとその墨色だけを見たのでは墨絵の墨を本当に理解することはできない」と紹欽氏が語っているように、墨絵を本当に理解したとき、色が見えてくるのかもしれませんが。

特別展を鑑賞した人から、「キャプションがよかった」「引き込まれた」などの意見があり、じっくり鑑賞する人が多かったようです。

今後も紹欽氏が愛した墨色の世界を、展示や講座などで発信していきます。

